



## 新博物館における基本的な活動

新博物館では、三重の自然と歴史・文化の資産を保全・活用する基本的な活動として、調査研究・収集保存・活用発信の3つの活動を進めます。3つの活動を相互に結びつけ、「協創」と「連携」の視点から、県民・利用者のみなさんや諸団体・諸機関とともに展開します。

### 調査研究活動 ～みんなで見つける三重の魅力～

- 博物館活動の根幹となる活動として、収集保存活動や活用発信活動に役立てます。
- 長期的な計画のもと、横断的・総合的に幅広く活動します。

### 収集保存活動 ～みんなを守る三重の宝～

- 三重の自然と歴史・文化に関する資産を守り、県民の共有財産として次代に引き継ぎ生かします。
- 活動をとおして、地域資産の守り手の育成や、地域資産の保全活動を進めます。

### 活用発信活動(交流創造・展示) ～みんなで育む三重の誇り～

- 調査研究活動、収集保存活動によって蓄積された三重の自然と歴史・文化に関する資産や情報を、だれもが気軽に幅広く活用し、発信できるようにします。

新県立博物館 建築・展示設計概要

2010年(平成22年)3月

問い合わせ先

三重県生活・文化部 新博物館整備推進室

〒514-8570 三重県津市広明町13番地  
TEL:059-224-2175/FAX:059-224-2408  
E-mail:shinhaku@pref.mie.jp  
http://www.pref.mie.jp/SHINHAKU/HP/



ともに考え、活動し、成長する博物館

# 三重の新県立博物館

建築・展示設計概要



使命1 三重の自然と歴史・文化の資産を保全継承し、次代へ生かす博物館

使命2 学びと交流を通じて人づくりに貢献する博物館

使命3 地域への愛着と誇りを育み、地域づくりに貢献する博物館

テーマ 三重が持つ『多様性の力』

活動理念 ともに考え、活動し、成長する博物館

特色 公文書館機能を一体化した博物館

基本的な考え方

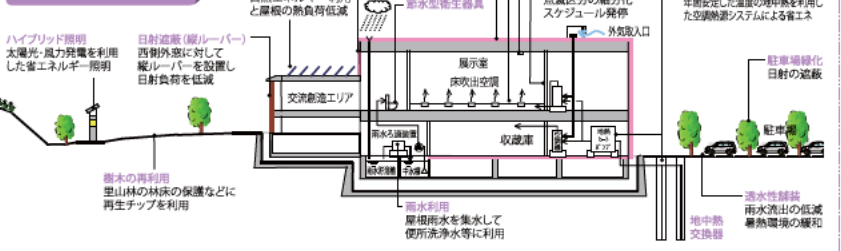
「三重の自然と歴史・文化」を育み、みなさんと

「ともに考え、活動し、成長する博物館」をめざします



- 県総合文化センターや美術館と一体になった「文化ゾーン」  
県総合文化センターや美術館との文化ゾーンの形成を意識し、配置や動線などに配慮した計画とします。
- 県立博物館にふさわしい「外観デザイン」  
周囲の景観に配慮しながら、県立博物館にふさわしい落ち着いた、三重らしさを感じるデザインとします。
- 緑の環境を生かす「ミュージアムフィールド」  
敷地内の緑の環境を生かすミュージアムフィールドを設けるとともに、環境保全の大切さが感じられる施設とします。

環境への配慮が感じられる施設



- 敷地全体での環境配慮  
多様な環境技術の導入により、省エネルギーを実現します。
- 環境学習の場づくり  
県民・利用者のみなさんと、里山林の再生・保全の活動など、環境学習の場づくりを行います。

建築概要とスケジュール

- 場所: 県総合文化センター隣  
津市上浜町6丁目・一身田上津部田内  
(津駅西口からバス約5分)
- 敷地面積: 37,793㎡
- 構造・規模: 鉄骨鉄筋コンクリート造(一部を除く。)  
3階建て 延べ面積10,779㎡  
(収蔵庫二重床などを除く。)

整備スケジュール

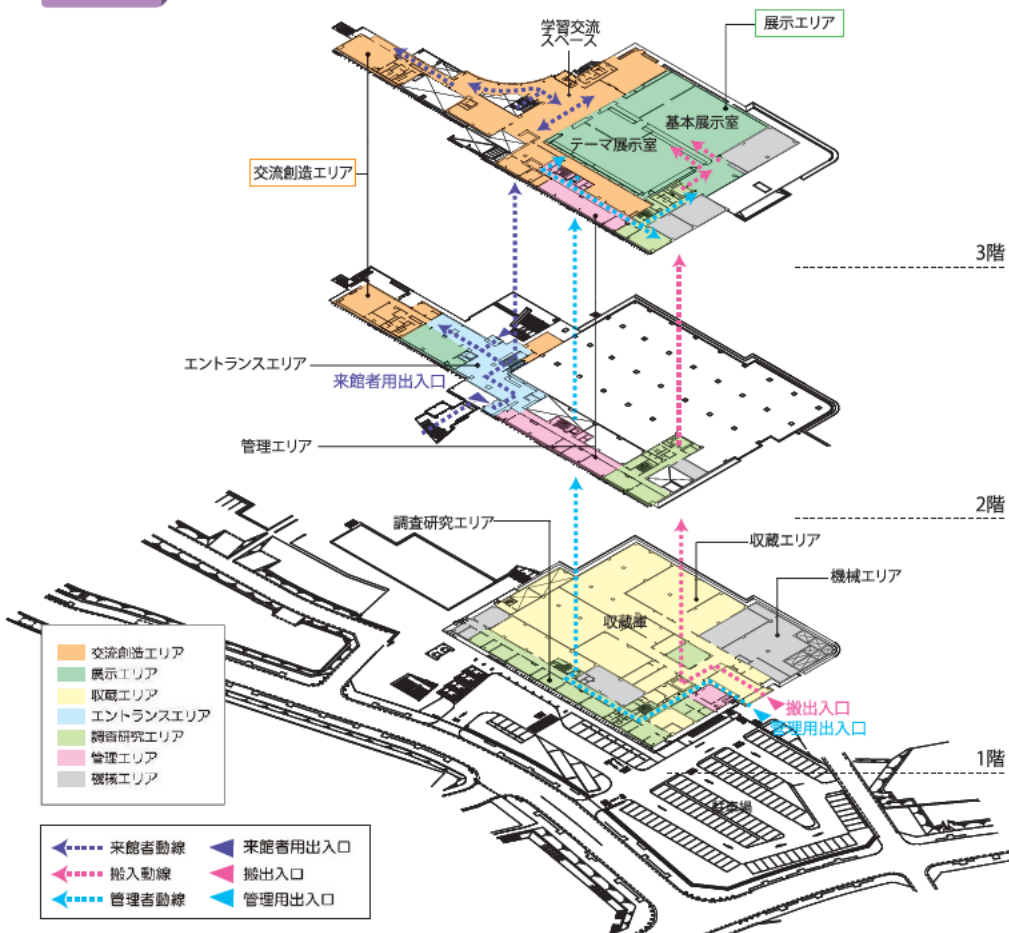
年度	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)
施設準備	建築設計	建築設計	建築設計	建築設計	建築設計	建築設計
展示	展示設計	展示設計	展示設計	展示設計	展示設計	展示設計
		造成工事	造成工事	造成工事	造成工事	造成工事
					引越し・開館準備	オープン





施設構成

利用者のみなさんにわかりやすい施設構成



県民のみなさんに開かれた  
明るい「エントランスエリア」

エントランスエリアは、交流の広場に面し、飲食・休憩スペースなどを配置することで、だれもが気軽に立ち寄れる空間とします。

明るく開放的な  
「交流創造エリア」

交流創造エリアの中心となる学習交流スペースは、明るく開放的な空間とします。また、さまざまな相談への対応や、歴史的公文書等収蔵資料の閲覧など、みなさんの活動を支援するところとします。

交流創造エリアと相乗効果  
を高める「展示エリア」

展示エリアは、展示資料の動線や保存環境に配慮した位置に配置するとともに、交流創造エリアと連携することで、博物館活動の幅を広げるなどの相乗効果を高めます。

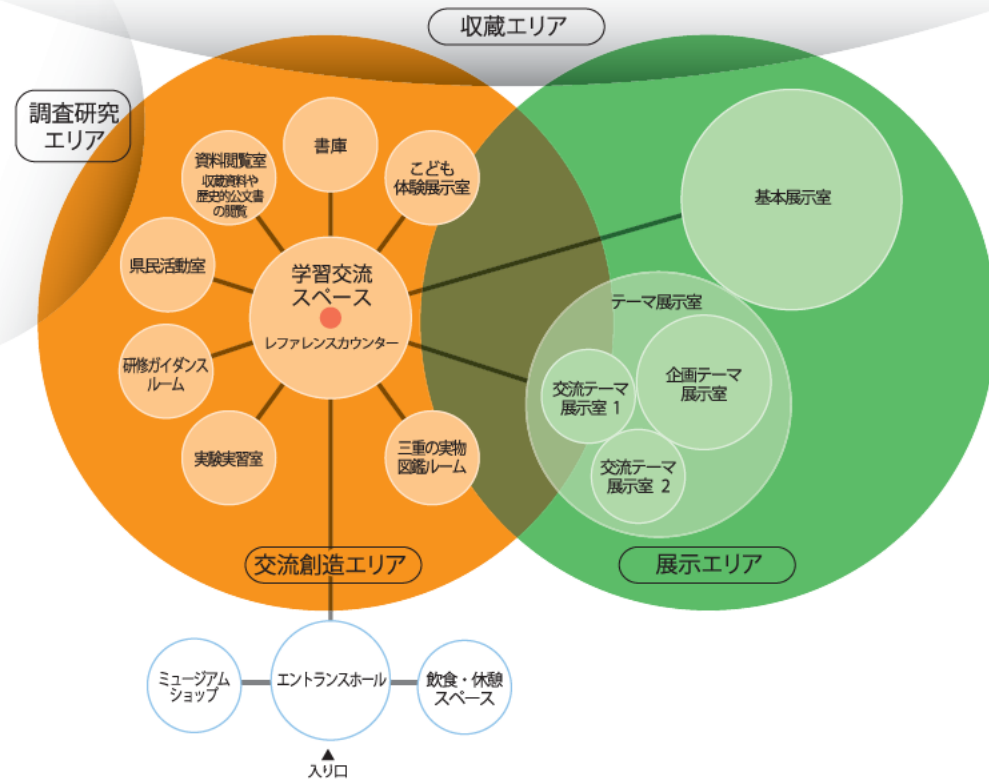
外気の影響を受けにくい  
「収蔵エリア」

収蔵エリアは、外気の影響を受けにくい位置に収蔵庫を配置するなど、資料の保存、管理、研究に適した施設とします。

基本的な  
考え方

県民・利用者のみなさんとともに、  
「三重が持つ『多様性の力』」を探求し、  
新たな知を創造・発信する博物館

交流創造エリアと展示エリアが融合することで、新たな活動を生み出す



交流創造  
エリア

だれもが三重の自然と歴史・文化に関する資料、情報を活用し、主体的に活動・交流できる空間

さまざまな博物館活動への入り口となって、交流創造の活動の輪を広げるための中核的な役割を果たします。これにより、県民・利用者と館、県民・利用者相互の対話や交流が活発に展開されることで、地域への愛着と誇りを育み、新たな創造と発信につながる場とします。また、好奇心いっぱいの子どもたちが集う場とします。

展示  
エリア

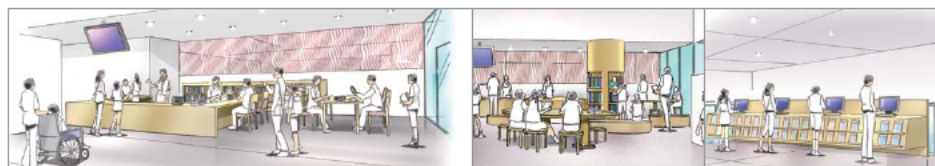
基本展示室とテーマ展示室を複合的に展開させ、多様な三重の自然と歴史・文化の魅力を伝え、未来へとつなげる展示

三重の多様で豊かな自然と歴史・文化の魅力を紹介する「基本展示室」と、複数のテーマによる大小さまざまな企画展示の組み合わせで展開する「テーマ展示室」とを複合的に連動させ、三重の特色である「多様性」を探求し、県内外に発信します。

交流創造 エリア

活動がみえる、交流を促す、創造の場

交流創造エリアの活動イメージ



**レファレンスイメージ** 館内の各種案内をはじめ、三重の自然と歴史・文化に関する問い合わせや相談などをサポートする窓口

**資料相談コーナーイメージ** 三重の実物図鑑ルームや資料閲覧室と連動して、資料相談などに対応できるコーナー

**簡易書架・情報コーナーイメージ** 収蔵資料のデータベース検索や映像の視聴、博物館の蔵書などを閲覧できるコーナー

**県内博物館情報コーナーイメージ** 県内博物館のパンフレットやチラシ、各館の情報を検索できる端末を設置するなど、県内の博物館・資料館を利用するためのコーナー



**博物館資料に親しみコーナーイメージ** ミエゾウの復元骨格標本を展示するなど、各所に三重をあらわす博物館資料を展示するコーナー

**くつろぎコーナーイメージ** ミュージアムフィールド側に面した明るい空間を活用し、ゆったりとくつろげるコーナー

**ワークショップコーナーイメージ** 来館者が気軽に参加できるワークショップなどを開催するコーナー

**活動コーナーイメージ** 博物館で活動するさまざまなグループのミーティングや活動の発表などに活用できるコーナー

こども体験展示室

子どもたちが博物館を好きになるきっかけとなる展示室

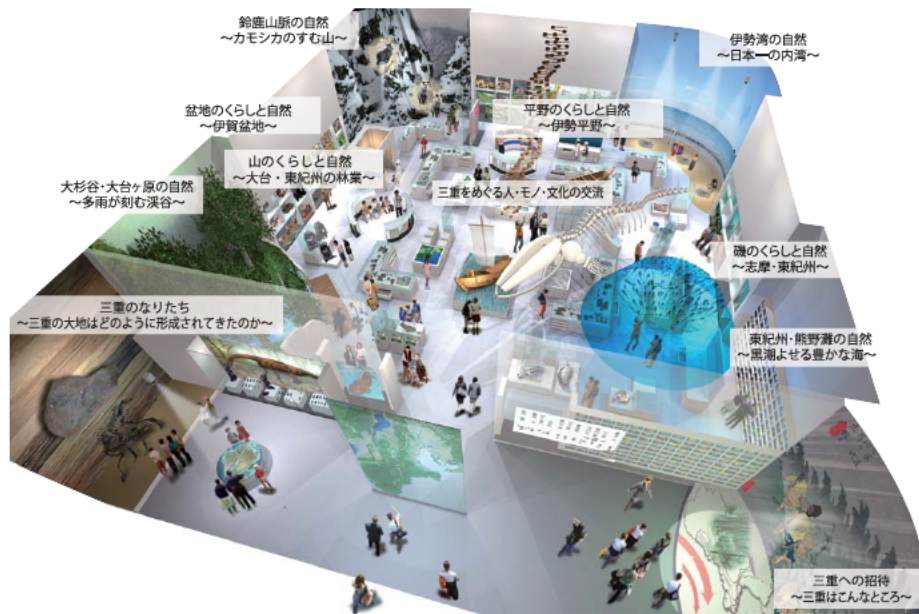
ミュージアムフィールドが望める展示室。天井高を生かし、開放的な空間とします。訪れた子どもたちが「遊ぶ・楽しむ」を通して、博物館の楽しさを知ることができる展示内容とします。



展示 エリア

「感じる」「自分とつながる」「展示活動に参加できる」展示

基本展示室のイメージ



**感じる展示** 多様で豊かな自然や多彩な交流を空間体験を通して、体感的に伝える展示です。



**知る・つながる展示** ハンズオンなどの感覚に訴える展示手法や、現在の私たちの身のまわりの様子との比較をとおして、より身近に感じてもらう展示です。



**調べる・参加する展示** 展示室内に三重の自然と歴史・文化に関する情報・書籍コーナーを配置します。県民のみならずから寄せられた最新の地域情報を調べたり、書籍を閲覧できます。地域とのつながりをめざし、展示に関するワークショップを実施します。



テーマ展示室

さまざまな展示を可能にするフレキシブルな空間

テーマ展示室の構成



連携と展開例

